

エコ・ウェイブ・ふくおか会議 行動宣言 2025

私たちは、福岡のまちの温暖化対策に向けて、自主的・自発的に取り組みを進めることが必要であると考え、2008年7月2日にエコ・ウェイブ・ふくおか会議を設立しました。

カーボンニュートラルに向けては、パリ協定で合意された平均気温上昇「1.5度未満」に向けた取り組みの加速が求められる中、昨年のC O P 2 9では途上国に対する気候変動対策への資金提供に係る議論の一方で、地方自治体の連携強化をはじめとした都市や建物の脱炭素化に貢献する取り組みについても議論が進むなど、国だけでなく地方における取り組みが重要視されつつあります。日本でも、2025年2月に、新しい「地球温暖化対策計画」が閣議決定され、2050年カーボンニュートラルの達成に向け、温室効果ガスを2035年度に60%、2040年度に73%まで削減するという数値目標が定められました。福岡市では、この目標値を上回る

「2040年度温室効果ガス排出量 実質ゼロ」に向けたチャレンジを「福岡市地球温暖化対策実行計画」に基づき進めており、世界・日本における脱炭素社会の実現を目指した取り組みに呼応して、私たちも、市民・事業者・行政が一体となった取り組みをさらに強く進めていく必要があります。

グローバルな社会経済活動が再び活発化している中で、新技術の積極的な実装、地域脱炭素の推進などの取り組みを進めることは、昨今のエネルギーリスクに対する強靱化につながるとともに、新たな投資や生産性の向上など、力強い成長を生み出すものになることも期待されています。

私たちは、新しいライフスタイルやビジネススタイルを取り入れ、市民、事業者、行政など、地域社会のあらゆる構成員の温暖化対策に向けた共同行動の波を引き起こすことで、福岡から脱炭素社会を確実に実現するよう、以下の行動を着実に実践することを宣言します。

私たちは、SDGsを推進し、脱炭素社会の実現を目指して、

- 宣言その1 省エネ・高効率型の機器・設備の積極的な導入や再生可能エネルギーの活用を進めます。
- 宣言その2 通勤時のマイカー利用を控えるなど、公共交通機関の利用を推進するとともに、業務用車両への電動車の導入や、運転時のエコドライブを心がけます。
- 宣言その3 デジタル化の推進、エコスタイルによる冷暖房の適正な温度設定、2 U P 3 D O W N運動などエレベーターの効率的な利用、休み時間の消灯など省エネ・省資源に取り組みます。
- 宣言その4 温暖化対策の意識や行動を、私たちの家族、グループ会社・関連団体のみならず、福岡のまち全体に、あらゆる機会を通じ拡げていきます。

(株) 岩田屋三越
国立大学法人 九州大学
九州旅客鉄道(株)
西部ガスホールディングス(株)
独立行政法人 都市再生機構 九州支社
(株) 西日本新聞社
(株) 福岡銀行
学校法人 福岡大学

(株) N T T ドコモ 九州支社
九州電力(株)
(株) 九電工
学校法人 西南学院
(株) 西日本シティ銀行
西日本鉄道(株)
福岡商工会議所
福岡地所(株) (以上16団体、五十音順)

座 長 / 浅野直人(福岡大学名誉教授)
関係行政機関 / 経済産業省 九州経済産業局
環境省 九州地方環境事務所
福岡県、福岡市